

令和3年度 [1171] 学校安全(生活安全)研修 実施要項

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、実施要項の4ページ「問診票」を当日記入し、受付で提出してください。なお、「ある」に○が付いた場合は、管理職に連絡し研修参加を見合わせてください。
- また、新型コロナウイルス感染症の状況等により本研修の実施形態を変更する場合は、島根県教育センターHPに掲載するとともに、別途メールにて連絡します。

1 目的 学校安全(生活安全)の現状と課題等について理解することにより、教職員の指導力及びミドルリーダーとしての資質を向上させ、各学校における学校安全の推進・充実に資する。

2 主催 島根県教育委員会

3 主管 教育指導課子ども安全支援室

4 会場・開催期日等

区 分	期 日	場 所	所管教育事務所
東部会場	9月15日(水)	松江合同庁舎 講堂 (松江市東津田町1741-1)	松江・出雲・隠岐
西部会場	9月16日(木)	浜田合同庁舎 大会議室 (浜田市片庭町254)	浜田・益田

- 5 受講者
- ・県立学校の学校安全(生活安全)担当教員各校1名(必修的研修)
 - ・市町村立学校の学校安全(生活安全)担当教員のうち希望者1名
 - ・受講を希望する私立及び国立の小学校・中学校・高等学校の学校安全(生活安全)担当教員のうち希望者1名
- ※ 受講定員は東部会場60名、西部会場40名とし、定員を超えた場合は調整する場合があります。
- ※ 受講は所管教育事務所が属する会場をお願いします。
- ※ 研修後、受講者は各校において研修内容を踏まえ、学校安全(生活安全)の指導的な役割を担っていくことが期待されています。
- ※ 講義は令和元年度とほぼ同じ内容となっています。なるべく令和元年度に本研修を受講された方以外の受講をお願いします。

6 日 程

東部会場 12:40 13:00 13:10			14:40 14:55			16:25 16:35		
受 付	開 講 式	講 義 (90)	休 憩	講 義 (90)	振 返 り			
西部会場 8:40 9:00 9:10			10:40 10:55			12:25 12:35		

7 講師・内容

- (1) 講 師 大阪教育大学 教授・学校安全推進センター長 藤田 大輔
 講 義 「生活安全」の現状と課題 ～効果的な指導と体制整備について～
 目 的 生活安全の領域において、事例から学び、効果的・効率的に指導をするための指導者としてのポイントを整理する。
- (2) 振り返り

※本研修の「講義」は、管理職セレクト研修の対象です。受講希望者は詳細を「管理職研修の手引」で確認し、FAXにより申し込んでください。

8 提出物

(1) 自校の学校安全計画（県立学校のみ、1部）

※研修当日、受付にて回収します。

9 携行するもの 名札（学校名と名前がわかるもの）、問診票（当日記入したもの）をお持ちください。

10 その他

(1) 旅費について

- ・市町村立学校の教員の出席に係る旅費は、一般旅費（学校配分）です。
- ・県立学校の教員の出席に係る旅費は、教職員旅費（指定研修分）です。
- ・私立及び国立学校の職員の出席に係る旅費については特段の措置はしません。

(2) 遅刻・早退・欠席の場合は研修担当者に連絡をお願いします。なお、欠席の場合は島根県教育センターHPにある欠席届（様式第1号）による手続きを行ってください。

(3) 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、以下の点について、ご理解ご協力をお願いします。

- 息苦しさ、強いだるさ、高熱等の強い症状または、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある場合は、研修を欠席する。
- 冷暖房使用にかかわらず、常時または定期的に換気を行うため、体温調節しやすい服装で参加し、暑いときはこまめな水分補給を心がける。
- 咳エチケットを心がけ、マスクを準備し着用する。
- 当日検温した上で研修に参加し、受付時に問診票を提出する。
- 手洗いを励行し、手指消毒をする。
- 密集・密接を避けるため、指定した位置に着席し、近い距離で集まることや互いに手が届く距離での会話や発声を控える。
- 物品の貸し借りはしない。
- 研修終了後は、密集・密接を避け、速やかに帰着する。
- 個人が排出したゴミ等は必ず持ち帰る。

(4) 各会場の駐車場には限りがあり駐車できない場合もあります。できるだけ公共交通機関の利用をお願いします。

(5) 5月から10月末まで、研修担当職員はノーネクタイ等の軽装で勤務していますのでご理解をお願いします。

(6) この研修についての問い合わせは、研修担当者まで連絡ください。

<講師紹介>

◆氏名：藤田 大輔 (Daisuke FUJITA)

◆所属：大阪教育大学 健康安全教育系 健康安全科学部門

◆職名：教授・学校安全推進センター長

◆学位：医学博士（兵庫医科大学）、体育学修士（筑波大学）

◆専門領域：学校安全、安全教育学、学校危機管理

◆略歴

1985年 3月 神戸大学教育学部卒業

1987年 3月 筑波大学大学院修士課程体育研究科健康教育学専攻修了

1991年 3月 兵庫医科大学大学院医学研究科社会医学系修了

1992年 7月 神戸大学教育学部講師

1996年 4月 神戸大学発達科学部助教授

2004年 10月 大阪教育大学教授（～現在）

2007年 4月 大阪教育大学附属池田小学校長（併任：～2011.03）

2011年 12月 中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会 学校安全部会委員

2012年 4月 大阪教育大学 学校危機メンタルサポートセンター長（～2020.03）

2012年 4月 日本 International Safe School 認証センター代表

2013年 6月 文部科学省「防災教育の体系的な指導に関する調査研究」協力者会議委員

2014年 4月 大阪教育大学学長補佐（学校安全担当）（～現在）

2014年 5月 中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会 学校安全部会委員

2014年 10月 日本セーフティプロモーションスクール協議会 理事長（～現在）

2015年 4月 中央教育審議会 初等中等教育分科会 専門委員

2015年 4月 文部科学省「学校事故対応に関する調査研究」有識者会議委員

2016年 5月 中央教育審議会 初等中等教育分科会 学校安全部会委員

2017年 9月 日本スポーツ振興センター「学校安全資料作成会議」委員

2020年 4月 大阪教育大学学校安全推進センター長（～現在）

2020年 5月 文部科学省「学校防災の取組の質向上・実践性向上の方策等についての調査研究」有識者会議委員

社会的活動：

大阪府安全なまちづくり推進会議学識経験者（2020～）

柏原市安全なまちづくり推進協議会委員（2005～）

日本安全教育学会常任理事（2006～）

日本セーフティプロモーション学会理事（2007～）、副理事長（2011～）

華東師範大学客員教授（中華人民共和国・上海市）（2006～）

雲南師範大学客員教授（中華人民共和国・昆明市）（2007～）

島根県教育庁教育指導課子ども安全支援室

担当 指導主事 和田 伸二

TEL 0852-22-6065 FAX 0852-22-6265

e-mail : wada-shinji@edu.pref.shimane.jp

問 診 票

本票は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、受講者の健康状態を確認することを目的としています。
本票に記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、研修会場にて感染症患者または、その疑いのある者が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提出することがあります。
なお、研修終了2週間後に破棄します。

研修番号	1 1 7 1	研修名	学校安全（生活安全）研修
研修実施日		研修時間	時 分 ～ 時 分
氏 名		学校名	
【島根県教育センター会場】自家用車で来所の場合、自家用車ナンバーを記入してください（車種と車の色でも可）。			

【重要】 ・下記に記入をし、受付で提出してください。

・「ある」に○が付いた場合は、管理職に連絡し、研修参加を見合わせてください。

本日の体調について、以下の項目について伺います。今朝の体温を記入し、現時点のあなたの状態に該当するものに○印をつけてください。

1. 今朝の体温は	度 分	
2. 今「37.5度」以上の熱が	ある	ない
3. 強いだるさや息苦しさが	ある	ない
4. 解熱剤の服用が	ある	ない
5. のどの痛みが	ある	ない
6. 味覚・嗅覚に異常が	ある	ない

その他申告すべき事項があれば、ご記入ください。

--